



おかじま つよし
岡島 剛 議員

OKAJIMA Tsuyoshi

Q. 児童遊園に健康遊具の設置を

A. 遊具の取り替え時に判断

児童遊園は、児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、また情操を豊かにすることを目的として設置されている。しかし、少子高齢化を考えると、児童だけでなく、多くの町民が利用することで世代の違う人たちが交流できる場となることが望まれる。

Q

HPでは令和6年8月1日現在で、9力所の児童遊園でネーミングライツが契約されている。契約されている9力所は、比較的高利用率の高い児童遊園ではないかと考えるが、町の見解はどうか。

A

生活福祉部長

利用率は把握していないが、ネーミングライツは、企業の地域貢献によるイメージや認知度の向上を図ることができるメリットがある。そのため、児童遊園を利用する人や地域の方などに企業名を見聞きする機会を増やすことができ、宣伝効果が期待できる場所を選択肢の一つにしているのではないかと考える。



背伸ばしベンチ

Q

町内に健康遊具を設置している児童遊園はあるのか。また、健康遊具を設置することにより、大人も利用することができ利用率の増加、将来的にフレイル予防にも繋がるのではないかと。ひいては、利用者が増えれば防犯対策にもなると考えるが、児童遊園に健康遊具を設置してはどうか。

A

生活福祉部長

本町では、産業文化会館児童遊園に背伸ばしベンチを設置している。今後は、児童遊園の改修整備や老朽化した遊具の取り替えなどの際に地域のご意見を伺いながら判断していく。

Q. 引き続き町政を担う思いは

A. 環境が許せば町政を担いたい

Q

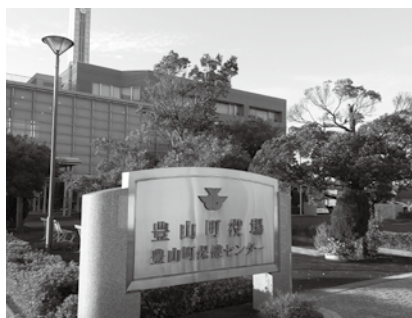
鈴木町長は、どのような思いで第5次総合計画の後期基本計画や臨空第2公園の基本計画を進めているのか。

A

総務部長

後期基本計画は、情勢の変化や前期基本計画での課題を踏まえ、まちの将来像である「一人ひとりが輝く、暮らし豊かなアーバンビレッジ」を実現できる計画にしたい。

臨空第2公園は、災害時の避難所としての機能を基本に、平常時には、隣接する愛知県の防災公園や本町の神明公園とともに、憩いの場としてだけではなく、スポーツ大会やマルシェなどの賑わいイベントが開催され子どもからお年寄りまで幅広い世代が集う場となる事を考えている。



11月10日に町長選挙が執行される

Q

令和6年11月10日、任期満了に伴う豊山町長選挙が執行される。町長は、引き続き町政を担う思いはあるのか。

A

町長

多くの課題に取り組むにあたり、環境が許せば、引き続き町政を担わせていただき、職員、議員、町民の皆さまとともに、夢のある豊山町の未来を創っていければと考えている。